

ちょうど良い気候のもと、魚類研究者 君塚 芳輝氏の指導で開催されました。85名の方にご参加いただき、アユやボラなど合計10種のいきものを発見しました。



見つけたいきものを 絵に書いてもらいました。



アユ

### 発見したいきもの

- ・アユ (42尾)
- ・マハゼ (10尾)
- ・スミウキゴリ (70尾)
- ・ボラ (51尾)
- ・ビリンゴ (2尾)
- ・マルタ (25尾)
- ・モクズガニ (1個体)
- ・アメリカザリガニ (1個体)
- ・ミシシippアカミミガメ (6個体)
- ・クサガメ (3個体)



## 歩もう 野の鳥の歌が聞こえるまち 計画紹介その9

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため平成26年4月から推進している『ささえあう<sup>いのちの</sup>生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画 (目黒区生物多様性地域戦略)』のポイントを紹介します。

### 生物多様性ってナニ？

多様な生物とそのつながりを「生物多様性」と言います。多様な生物が複雑に影響しあって豊かな生態系が保たれている時、生物多様性の良好な姿と言えます。

私たちの暮らしは、この生物多様性があるからこそ。例えば、私たちの食べる野菜や果物の中には、昆虫などによって花粉が運ばれないと、実ができないものもあります。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化などは自然の恵みによって支えられています。こうした恵みを「生態系サービス」といい、生物多様性のバランスの上で成り立っています。だからこそ、生物多様性が重要なのです。

### なぜ生物多様性が大切なのか？

たくさんのいきものがつながりあっているから、たとえいきものが1種でもいなくなると、生態系のバランスがくずれてしまうんだ。人間の活動によってこうした状況が各地でおこっているんだ。

身近な自然を守り、人間といきもののが共に暮らせるまちづくりで、このまちの生物多様性も守っていききたいね！



### ◆定点観測員になりませんか？



公園や自宅のお庭など身近な場所を観測地として決めていただき、桜の開花やチョウやセミ、ツバメなどを初めて見たり声を聞いたりした日など、四季の変化を継続的に観察していただける方を、『定点観測員』として募集しています。定点観測員にご登録いただいた方には目黒区いきもの住民台帳を送付いたします。定点観測員に登録したい、興味がある方はみどりの係までご連絡ください。自然通信員の皆様のご参加をお待ちしております。

2018年7月25日発行

目黒区みどりと公園課みどりの係  
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15  
TEL: 03-5722-9355  
FAX: 03-3792-2112  
メール: sizen@city.meguro.tokyo.jp  
【作成】(株)自然教育研究センター